

事業報告書

【スポーツ団体スポーツ活動助成】

助成事業細目	スポーツ活動推進事業 スポーツ教室、スポーツ大会等の開催（スポーツ）						
助成事業者名	一般社団法人 日本バイアスロン連盟						
事業名	第29回東日本バイアスロン選手権大会						
事業の成果	<p>バイアスロン競技は、日本国内では銃刀法の規制等があり競技会が少ない状況にあり、開催されている競技会はほぼ北海道で開催されている。</p> <p>本州の東北地方で唯一開催される本競技会により、バイアスロン競技の普及、技術向上を目的に開催している。今大会の参加者数は、マスタート競技（3種目）29人、スーパースプリント競技31人の2日間で延べ57人で、実人数33人の参加であった。次期冬季オリンピックを目指す選手も参加されたが、日本のトップ選手及びユース代表選手は海外遠征中のため参加されず残念であった。また、観客も県外からも多数来場いただき、バイアスロン競技の普及が図られた。</p>						
事業に対する評価	<p>マスタート競技は、一斉スタートということもあり相手を常に意識し競技が行われ、射撃のたびに順位が入れ替わる戦いが行われた。また、スーパースプリント競技は、クロスカントリーよりも射撃を重視した競技で選手は射撃への集中力が求められ、技術力の向上が図られた。</p> <p>現在、国内でのバイアスロン競技大会は札幌市で開催される宮様国際スキー大会バイアスロン競技、バイアスロン日本選手権大会等と富山県南砺市で開催される西日本バイアスロン競技大会と本大会だけであり、本大会には遠くは京都府や兵庫県などから参加していただいた。</p> <p>銃刀法の規制により銃の所持が厳しく制限されている日本でのバイアスロン競技普及のため、そして個々の技術力向上のため、継続して開催していく必要性を強く感じた。</p>						
実施した事業の内容	開催期間・開催日	令和 2 年 1 月 24 日 ~ 令和 2 年 1 月 28 日					
	主催者	（一社）日本バイアスロン連盟					
	共催者	岩手県バイアスロン連合					
	開催場所	八幡平市田山バイアスロン競技場					
	募集方法	HPや前回参加者へのDM等により開催要項を周知し、全国各地から参加者を募った。					
	参加対象者	銃刀法に適合した者は誰でも参加可能					
	参加者数 スタッフ数	開催期間内の 事業実施回数	2 回				
		平均参加者数 (スタッフ・観覧者を除く)	29 人		総参加人数	58 人	
		世代	①0~19歳	②20~39歳	③40~59歳	④60歳~	合計
		性別					
		男性	2	2	16	5	25
		女性	1	1	1	1	4
		計	3	3	17	6	29
地域住民の参加人数		4 人		地域住民参加割合	13.8 %		
障がい者参加人数		0 人		障がい者参加割合	0.0 %		
実施日における運営スタッフ（請負業者を除く）平均参加人数		92 人		参加者に対する運営スタッフの割合	317.2 %		
緊急体制	<input type="checkbox"/> 医師が待機 <input type="checkbox"/> 看護師が待機 <input checked="" type="checkbox"/> 会場にAEDを設置 <input type="checkbox"/> 該当なし						
くじ助成金以外の収入増加に向けた取組み	<input type="checkbox"/> 行った <input checked="" type="checkbox"/> 行わなかった	取組内容					

事業報告書

【スポーツ団体スポーツ活動助成】

助成事業細目		スポーツ活動推進事業 ----- スポーツ教室、スポーツ大会等の開催（スポーツ）	
助成事業者名		一般社団法人 日本バイアスロン連盟	
事業名		第29回東日本バイアスロン選手権大会	
情報公開	事業実施計画の公表	事業を広報・PRするための手段 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> HPで参加者募集を告知した <input type="checkbox"/> 広報誌・会報誌等で参加者募集を告知した <input type="checkbox"/> 広くチラシを配布した <input checked="" type="checkbox"/> 特定の個人・団体へ声をかけ、参加を呼びかけた <input type="checkbox"/> その他 () ※具体的な手段を記載してください。 ※上記いずれかの広報・PRを行う必要があります。
	事業の実施状況及び実施結果並びに助成金の使途に関する情報の公開	情報の公開方法 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> HPで公開 <input type="checkbox"/> 広報誌・会報誌等で公開 <input checked="" type="checkbox"/> 事務所等に備え、自由に閲覧できる環境を整備 <input checked="" type="checkbox"/> 情報開示請求があった場合に開示 <input type="checkbox"/> その他 () ※具体的な公開手段を記載してください。 ※上記いずれかの公開が必要です。
		公表した内容 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 事業の実施状況(助成金の交付を受けている旨を記載し、事業の進捗、途中経過を公開) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の実施結果(助成金の交付を受けた旨を記載し、事業の完了報告を公開) <input type="checkbox"/> 助成金の使途に関する情報(助成金額(交付決定額)及び何に使用したのかを公開) ※上記いずれかの公表が必要です。
事業実施後に参加者等に対する満足度調査を行ったか		<input type="checkbox"/> 行った <input checked="" type="checkbox"/> 行わなかった	実施方法
備考			

※本報告書はA4サイズ2枚で印刷してください。

事業報告書

【スポーツ団体スポーツ活動助成】

助成事業細目		ドーピング検査推進事業 ----- ドーピング検査事業 ※競技団体用	
助成事業者名		一般社団法人 日本バイアスロン連盟	
事業名		2019年度ドーピング検査事業	
事業の成果		選手個々並びに関係者に向けて、スポーツインテグリティの1つであるアンチ・ドーピングについて、規則に基づき公平に正々堂々と競い合うフェアプレイの精神を理解させると共に、ドーピングが選手自身の健康を阻害することを理解させ、適切にドーピング検査受検を実施することが出来た。	
事業に対する評価		計画された競技大会検査の内、以下の大会については円滑かつ適正な検査受検を実施することができた。 ・第31回サマーバイアスロン日本選手権大会 以下、2大会については、新型コロナウイルス感染拡大による自粛要請のため、大会が中止となった。 1) 第56回バイアスロン日本選手権大会 2) 第91回宮様スキー大会国際競技大会	
実施した事業の内容		・第31回サマーバイアスロン日本選手権大会：平成30年10月14日、札幌市西岡競技場、対象者4名、NF-Rep1名 以下、2大会については、新型コロナウイルス感染拡大による自粛要請のため、大会が中止となったため、検査受検も行われなかった。 1) 第56回バイアスロン日本選手権大会 2) 第91回宮様スキー大会国際競技大会	
情報公開	事業の実施状況及び実施結果並びに助成金の用途に関する情報の公開	情報の公開方法 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> HPで公開 <input type="checkbox"/> 広報誌・会報誌等で公開 <input checked="" type="checkbox"/> 事務所等に備え、自由に閲覧できる環境を整備 <input checked="" type="checkbox"/> 情報開示請求があった場合に開示 <input type="checkbox"/> その他 () ※具体的な公開手段を記載してください。 ※上記いずれかの公開が必要です。
		公表した内容 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 事業の実施状況(助成金の交付を受けている旨を記載し、事業の進捗、途中経過を公開) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の実施結果(助成金の交付を受けた旨を記載し、事業の完了報告を公開) <input checked="" type="checkbox"/> 助成金の用途に関する情報(助成金額(交付決定額)及び何に使用したのかを公開) ※上記いずれかの公表が必要です。
事業実施後に参加者等に対する満足度調査を行ったか		<input checked="" type="checkbox"/> 行った <input type="checkbox"/> 行わなかった	実施方法 NF-Repから口頭で確認した。
備考			

事業報告書

【スポーツ団体スポーツ活動助成】

助成事業細目	スポーツ活動推進事業 スポーツ教室、スポーツ大会等の開催（スポーツ）						
助成事業者名	一般社団法人日本バイアスロン連盟						
事業名	北海道バイアスロンジュニア育成事業						
事業の成果	各講習会の参加人数は非常に少ないですが中学生と小学生高学年の参加者が繰り返し参加してレベル向上させてきている。レベル向上に伴い中学生と小学生の練習区分を分けて実施する事が必要になってきた。また後半の事業（#3講習会）では参加者が徐々に増え、子供達の参加モチベーションが高まって来ていた。子供達のモチベーションと相関して保護者のサポートと連携等の連絡事項がスムーズに行き連盟の活動に大きな理解を得る事が出来てきた。						
事業に対する評価	道北地域と道央地域に分けて講習会の参加を促しているが目標としている参加者数に遠く及ばないのが現状だ。広く普及させていく事に関して既存のスキークラブ以外の地域や団体などにも理解を得て発掘していきたい。一方モチベーションが高まってきた参加者には講習会頻度を上げて育成計画を立てる事が出来てきた。						
実施した事業の内容	開催期間・開催日	1 年 9 月 7 日 ~ 2 年 2 月 9 日					
	主催者	日本バイアスロン連盟					
	共催者	北海道バイアスロン連盟					
	開催場所	# 1 旭川市中和公園、# 2 倶知安町旭丘多目的広場、# 3 札幌市盤溪コース					
	募集方法	募集要項郵送					
	参加対象者	小学5年生以上中学生の男女					
	参加者数 スタッフ数	開催期間内の 事業実施回数	3	回			
		平均参加者数 (スタッフ・観覧者を除く)	3	人	総参加人数	10 人	
		世代 性別	①0~19歳	②20~39歳	③40~59歳	④60歳~	合計
			男性	8			8
		女性	2			2	
		計	10	0	0	0	10
		地域住民の参加人数	9	人	地域住民参加割合	300.0 %	
障がい者参加人数		0	人	障がい者参加割合	0.0 %		
実施日における運営スタッフ（請負業者を除く）平均参加人数		3	人	参加者に対する 運営スタッフの割合	100.0 %		
緊急体制		<input type="checkbox"/> 医師が待機 <input type="checkbox"/> 看護師が待機 <input checked="" type="checkbox"/> 会場にAEDを設置 <input type="checkbox"/> 該当なし					
くじ助成金以外の収入増加に向けた取組み	<input type="checkbox"/> 行った <input checked="" type="checkbox"/> 行わなかった	取組内容					

